

2020年度 熊本ベルエベル美容専門学校 美容科 カリキュラム

科目		1年次	2年次	1年2年計	実務経験者が 行う授業		
必修 課目	関係法規・制度	0	36	36	×		
	衛生管理	34	72	106	×		
	保健	31	75	106	×		
	化粧品化学	0	72	72	×		
	文化論	0	72	72	×		
	運営管理	10	26	36	×		
	美容技術理論	122	56	178	×		
	美容 実習	国家試験カット	0	152	152	○	
		※1 国家試験ワインディング	63	国家試験がワインディング*	192	○	
				国家試験がオールウェーブ*	142	○	
		※1 国家試験オールウェーブ	0	国家試験がオールウェーブ*	174	○	
				国家試験がワインディング*	124	○	
		選 択 ※ 2	ヘアデザイナー技術	533	59	592	○
			ブライダル技術	533	59	592	○
アイ・エステ技術	533		59	592	○		
計		596	464	1060	-		
選 択 課 目	特別授業	8	3	11	×		
	HR	254	255	509	×		
	マナー	34	40	74	×		
	就職	29	11	40	×		
	選 択	経営学 パーソナルカラー 1年生研修	70	6	76	×	
合計		1188	1188	2376	-		

【※1】ワインディング・オールウェーブは毎年どちらかが国家試験課題となる。
どちらの課題になるかにより、国家試験ワインディング及びオールウェーブの授業の時間数が変わる。

【※2】ヘアデザイナー技術、ブライダル技術、アイ・エステ技術から1つ選択する。

基本情報			
講義名	関係法規・制度	実務経験のある者の授業	×
授業形態	講義	必修/選択	必修
授業時間数	1年次	2年次	
	0	36	

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の実務経験内容
-	-

授業内容	
授業概要	美容師免許を取得し、美容業務に就き、また、将来に独立して美容所を開設する場合に必要なとなる法令について美容師法を中心に、関連する衛生法規を授業及び複数回行う確認テストにて修得させる。
授業の到達目標	美容師国家試験に合格する為の法的知識を修得させる。そのために美容師法や関連法令の内容を体系的に理解させる。 美容師免許取得後の美容師として必要な法令等の理解。

具体的内容		
項目	時間数	内容
法制度の概要	2	社会生活における法の役割、法の形式(憲法・法律・命令・条令・規則) 衛生法規の概要
衛生行政の概要	3	衛生行政の意義と歴史、衛生行政の分類と生活衛生行政の内容 衛生行政を担う行政機関(環境衛生監視員含む) 復習【確認テスト】
美容師法	11	人に関する規定(美容師養成施設～試験)(免許と登録～義務) (業務停止、免許取消、再免許)(登録事項の変更)(管理美容師) 人に関する規定の復習【確認テスト】 施設に関する規定(美容所)(開設～衛生措置)(美容所外での業務) 違反者等に対する行政処分 罰則 行政処分・罰則の復習
関連法規	3	関連法規(運営・衛生・顧客に関する法律) 人に関する規定・関連法規 復習【確認テスト】
まとめ	4	期末テスト対策
国家試験対策	13	法制度の概要・衛生行政の概要 復習問題 人に関する規定 復習問題 施設に関する規定 復習問題 関連法規 復習・問題 テスト対策(国家試験過去問題)(解答・解説)

成績	
成績評価の方法・基準	出席状況、授業への取り組み姿勢、学期末テスト、授業にて行う確認テストの成績、レポート提出等で総合的に成績評価を行う。出席率が85%以上で、且つ学期末テストの試験成績が60点以上であることを履修認定の基準とする。

基本情報			
講義名	衛生管理	実務経験のある者の授業	×
授業形態	講義	必修/選択	必修
授業時間数	1年次	2年次	
	34	72	

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の実務経験内容
-	-

授業内容	
授業概要	美容師国家試験の取得のため、また美容師の職に就くにあたり必要な衛生管理の知識を、授業及び複数回行う確認テストの実施で身に着ける。
授業の到達目標	美容師国家試験に合格する為の衛生管理における知識を修得させることまた、美容師免許取得後の美容師として必要な衛生管理に関する知識の習得を到達目標とする。

具体的内容		
項目	時間数	内容
公衆衛生の概要	6	公衆衛生の意義と課題(公衆衛生発展の歴史、理容師・美容師と公衆衛生) 保健所と理容業・美容業 確認テスト対策 練習問題 解答解説 確認テスト
保健	6	母子保健 確認テスト対策 練習問題 解答解説 確認テスト
テスト対策	5	復習問題 解答解説
環境衛生	12	環境衛生の概要(空気環境 空気と健康 温度、湿度、気流(風)と健康 衣服・居住の衛生) 上・下水道と廃棄物 衛生害虫とネズミ 環境保全 確認テスト対策 練習問題 解答解説 確認テスト
テスト対策	5	環境衛生 復習問題 解答解説
感染症	11	感染症の総論 常在細菌叢 免疫と予防接種 感染症の要因 感染症予防の3原則 感染症の総論 復習 確認テスト
感染症各論	7	感染症各論 理容・美容と感染症、主な感染症 具体的な対策例 感染症各論 復習 確認テスト
テスト対策	6	感染症 復習問題 解答解説
衛生管理技術	7	消毒法総論 消毒とは(消毒の意義 理容・美容の業務と消毒との関係) 消毒法と適用上の注意 消毒法総論 復習 確認テスト
消毒法各論	7	消毒法各論 理学的消毒法 化学的消毒法 すぐれた消毒法とその実施上の注意 消毒法各論 復習 確認テスト
消毒法実習	6	消毒法実習(各種消毒薬 理容所・美容所の消毒の実際 理容所・美容所の清潔法の実際) 消毒法実習 復習 確認テスト
衛生管理の 実践	6	理容所及び美容所における衛生管理要領(衛生的取り扱い等 自主的管理体制) 理・美容所の自主管理点検 衛生管理の実践 復習 確認テスト

具体的内容		
項目	時間数	内容
テスト対策	8	復習問題 解答解説
弱点強化	2	弱点発見問題○×100問 解答解説
衛生管理技術 衛生管理の実践	3	衛生管理技術 衛生管理の実践 復習練習問題(4択) 過去問題 解答解説
1編 公衆衛生	3	復習 練習問題(4択) 過去問題 解答解説
2編 環境衛生	3	復習 練習問題(4択) 過去問題 解答解説
3編 感染症	3	復習 練習問題(4択) 過去問題 解答解説

成績	
成績評価の方法・基準	出席状況、授業への取り組み姿勢、学期末テスト、授業にて行う確認テストの成績、レポート提出等で総合的に成績評価を行う。出席率が85%以上で、且つ学期末テストの試験成績が60点以上であることを履修認定の基準とする。

基本情報			
講義名	保健	実務経験のある者の授業	×
授業形態	講義	必修/選択	必修
授業時間数	1年次	2年次	
	31	75	

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の実務経験内容
-	-

授業内容	
授業概要	美容師国家試験の取得のため、また美容師の職に就くにあたり必要な保健の知識を、授業複数回行う確認テストの実施で身につける。
授業の到達目標	美容師国家試験に合格する為の保健における知識を修得させることまた、美容師免許取得後の美容師として必要な保健に関する知識の習得を到達目標とする。

具体的内容		
項目	時間	内容
頭部・顔部・頸部の体表解剖学	3	人体各部の名称 頭部、顔部、頸部の体表解剖学 確認テスト
骨格系	4	骨の種類と構造 骨の連結 骨格器系とそのはたらき 確認テスト
筋系	4	筋の種類とその特徴 主な骨格筋とその働き 表情筋と表情運動 美容・美容の作業と筋疲労 確認テスト
神経系	4	神経系の成り立ち 中枢神経と末梢神経 確認テスト
感覚器系	3	視覚 聴覚 平衡感覚 味覚 嗅覚 皮膚感覚 確認テスト
血液・循環器系	4	血液のあらまし 血液循環の仕組み循環経路 心臓と血管のはたらき リンパ管系の仕組みと働き 確認テスト
呼吸器系	5	呼吸器系のあらまし 起動 肺の仕組みとガス交換 呼吸運動 確認テスト
消化器系	5	消化器系のあらまし 仕組み 働き 消化と物質代謝 確認テスト
皮膚科学	26	皮膚の構造 皮膚の構造 確認テスト 皮膚付属器官の構造 皮膚付属器官の構造 確認テスト 皮膚の循環器系と神経系 皮膚と皮膚付属器官の生理機能 皮膚と皮膚付属器官の生理機能 確認テスト 皮膚と皮膚付属器官の保健 皮膚と皮膚付属器官の保健 確認テスト 皮膚と皮膚付属器官の疾患 皮膚と皮膚付属器官の疾患 確認テスト
期末試験対策	22	過去問中心4択問題

具体的内容		
項目	時間	内容
全範囲復習	26	頭部・顔部・頸部の体表解剖学 骨格系 筋系 神経系 感覚器系 血液・循環器系 呼吸器系 消化器系 皮膚科学

成績	
成績評価の方法・基準	出席状況、授業への取り組み姿勢、学期末テスト、授業にて行う確認テストの成績、レポート提出等で総合的に成績評価を行う。出席率が85%以上で、且つ学期末テストの試験成績が60点以上であることを履修認定の基準とする。

基本情報			
講義名	化粧品化学	実務経験のある者の授業	×
授業形態	講義	必修/選択	必修
授業時間数	1年次	2年次	
	0	72	

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の実務経験内容
-	-

授業内容	
授業概要	美容師国家試験の取得のため、また美容師の職に就くにあたり必要な化粧品の知識を、授業及び複数回行う確認テストの実施で身に着ける。
授業の到達目標	美容師国家試験に合格する為の化粧品における知識を修得させることまた、美容師免許取得後の美容師として必要な化粧品に関する知識の習得を到達目標とする。

具体的内容		
項目	時間	内容
化粧品概論	2	化粧品の社会的意義と品質特性 化粧品の規制 化粧品の安定と取扱上の注意 化粧品の安全性
化粧品用原料	16	化粧品の対象となる人体各部の性状 水性原料 油性原料 界面活性剤 高分子化合物 色材 香料 その他の配合成分 ネイル、まつ毛エクステンション用材料 復習(4択問題) 確認テスト
基礎化粧品	7	皮膚洗浄用化粧品(石けん) 化粧水 クリーム・乳液 その他の基礎化粧品 復習(4択問題) 確認テスト
メイクアップ用化粧品	1	メイクアップ用化粧品の種類と剤形 ベースメイクアップ化粧品 ポイントメイクアップ化粧品 復習(4択問題) 確認テスト
頭皮・毛髪用化粧品	11	シャンプー剤 スタイリング剤 パーマ剤 ヘアカラー製品 育毛剤 復習(4択問題) 確認テスト
芳香製品と特殊化粧品	4	芳香製品 特殊化粧品 確認テスト
化粧品化学を理解するための基礎化学	6	物質の構成 溶解とコロイド イオンと水素イオン指数 物質の変化と化学変化 酸化・還元反応 タンパク質
期末試験対策	11	100問○×問題 過去問中心4択問題
全範囲	8	総復習(過去問中心)
4択問題	6	難易度up 4択問題

成績	
成績評価の方法・基準	出席状況、授業への取り組み姿勢、学期末テスト、授業にて行う確認テストの成績、レポート提出等で総合的に成績評価を行う。出席率が85%以上で、且つ学期末テストの試験成績が60点以上であることを履修認定の基準とする。

熊本ベルエベル美容専門学校 美容科シラバス

基本情報			
講義名	文化論	実務経験のある者の授業	×
授業形態	講義	必修/選択	必修
授業時間数	1年次	2年次	
	0	72	

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の実務経験内容
-	-

授業内容	
授業概要	美容師国家試験の取得のため、また美容師の職に就くにあたり必要な美容に関する文化論の知識を、授業及び複数回行う確認テストの実施で身に着ける。
授業の到達目標	美容師国家試験に合格する為の文化論における知識を修得させることまた、美容師免許取得後の美容師として必要な美容に関する文化論の知識の習得を到達目標とする。

具体的内容		
項目	時間	内容
総論	1	総論・理美容業の発生
日本の理容業・美容業の歴史	1	江戸・近代・現代時代の理容業・美容業
ファッション文化史 日本編	21	縄文・弥生・古墳時代 古代(飛鳥・奈良・平安時代) 中世(平安末・鎌倉・室町・戦国時代) 近世(戦国末・安土桃山時代・江戸時代) 近代(明治・大正・昭和20年まで) 現代(1945年～1950年代)(1960年代～1970年代)(1980年代～1990年代)(2000年代以降) 復習 確認テスト
ファッション文化史 西洋編	19	古代エジプト 古代ギリシャ・ローマ 古代ゲルマン 中世ヨーロッパ 近世(16世紀～18世紀) 近代(18世紀末～19世紀) 現代Ⅰ(1910年代～1920年代)(1930年代～1940年代前半)(1940年代後半～1950年代) 現代Ⅱ(1960年代)(1970年代)(1980年代)(1990年代～2010年) 復習 確認テスト
礼装の種類	6	和装の礼装 洋装の礼装 確認テスト
期末試験対策	8	復習 確認テスト
総復習	16	○×問題 解答解説 過去問、ワークブック(4択問題) 解答解説 総復習

成績	
成績評価の方法・基準	出席状況、授業への取り組み姿勢、学期末テスト、授業にて行う確認テストの成績、レポート提出等で総合的に成績評価を行う。出席率が85%以上で、且つ学期末テストの試験成績が60点以上であることを履修認定の基準とする。

基本情報			
講義名	運営管理	実務経験のある者の授業	×
授業形態	講義	必修/選択	必修
授業時間数	1年次	2年次	
	10	26	

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の実務経験内容
-	-

授業内容	
授業概要	美容師国家試験の取得のため、また美容師の職に就くにあたり必要な運営管理の知識を、授業及び複数回行う確認テストの実施で身に着ける。
授業の到達目標	美容師国家試験に合格する為の運営管理における知識を修得させることまた、美容師免許取得後の美容師として社会人として必要な働く上での知識(運営管理)の習得を到達目標とする。

具体的内容		
項目	時間	内容
人という資源、作業員としての視点	9	人という資源、健康・安全な職場環境の実現、従業員としての視点から 復習 確認テスト
経営者の視点	7	経営とは・経営者とは、理容業・美容業の経営について、資金の管理 復習 確認テスト
顧客のために	7	サービス・デザイン、マーケティング、サービスにおける人の役割 復習 確認テスト
期末試験対策	7	○×問題
国家試験対策	6	過去問、ワークブック4択問題 解答解説

成績	
成績評価の方法・基準	出席状況、授業への取り組み姿勢、学期末テスト、授業にて行う確認テストの成績、レポート提出等で総合的に成績評価を行う。出席率が85%以上で、且つ学期末テストの試験成績が60点以上であることを履修認定の基準とする。

基本情報			
講義名	美容技術理論	実務経験のある者の授業	×
授業形態	講義	必修/選択	必修
授業時間数	1年次	2年次	
	122	56	

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の実務経験内容
-	-

授業内容	
授業概要	美容師国家試験の取得のため、また美容師・美容業界で活躍するにあたって重要な美容に関する基礎・応用的な知識を、技術及び接客に活かせるよう、授業及び複数回行う確認テストの実施で身に着ける。
授業の到達目標	美容師国家試験に合格する為の美容技術理論における知識を修得させることまた、美容師免許取得後の美容師・美容業界で活躍するにあたって必要な知識の修得を到達目標とする。

具体的内容		
項目	時間	内容
序章	1	美容理論と美容技術、美容技術における作業姿勢、美容技術に必要な人体各部の名称
美容用具	2	美容技術における用具(シザー、レーザー、ヘアスチーマー等)
シャンプーイング	5	シャンプーイング総論(サイド・バックシャンプー、リンス・コンディショナー、ヘッドスパ等)
美容技術理論を学ぶにあたって～シャンプーイング	1	確認テスト
ヘアデザイン	3	美容とヘアデザイン 確認テスト
ヘアカッティング	4	ヘアカッティングとは～ヘアカッティングの正しい姿勢 ブロッキング～ベーシックなカット技法、シザーズ・レーザーによるカット技法 確認テスト
パーマメントウェービング	4	パーマメントウェーブの歴史と現在、理論、パーマ剤の分類 パーマ剤に関する注意事項、パーマメントウェーブ技術 ワインディングのバリエーション、縮毛矯正 確認テスト
ヘアセッティング	6	ヘアセッティングとは、パーティング、シェーピング、カーリング ヘアウェービング、ローラーカーリング、ブロードライ アイロンセッティング、バックコーミング、アップスタイル、ウィッグとヘアピース 確認テスト
ヘアカラーリング	5	ヘアカラーリング概論、ヘアカラーの種類、タイプ別特徴 染毛のメカニズム、色の基本、毛髪のレベルとアンダートーン パッチテスト、染毛剤使用時の注意事項、ヘアカラーリングの道具、酸化染毛剤 酸性染毛料の技術手順、ヘアブリーチ 確認テスト
美容技術理論を学ぶにあたって～ヘアカラーリング	24	復習 4択問題練習 解答解説
エステティック	5	エステティック概論、皮膚の整理と構造、カウンセリング、マッサージ理論、 フェイシャルケア技術、フェイシャル及びデコルテマッサージ、 フェイシャルパック、ボディケア技術、ボディマッサージ、確認テスト
ネイル技術	6	ネイル技術概論・種類、爪の構造と機能、爪のカット形状、ネイル技術と公衆衛生 カウンセリング、ネイルケア アーティフィシャルネイル、手と足のマッサージ 確認テスト

具体的内容		
項目	時間	内 容
メイクアップ	6	メイクアップ概論、顔の形態学的な観察、色彩、皮膚の整理と構造、メイクアップの道具 スキンケア、ベースメイクアップ アイメイクアップ、アイブロウメイクアップ、リップメイクアップ ブラッシュオンメイクアップ、まつ毛エクステンション 確認テスト
日本髪	4	日本髪の由来、各部名称、種類と特徴、調和、装飾品、結髪道具 日本髪の結髪技術、手入れ、かつら 確認テスト
着付けの理論と技術	5	着付けの目的、礼装、着物と季節、着物のいろいろ 帯、小物、着物の各部名称、着物のたたみ方、着付けの一般的要領 留袖・振袖着付け技術、帯締め・帯揚げの結び方、男子礼装羽織、袴着付け技術 羽織のひもの結び方、女子袴着付け技術 婚礼着付けの際の注意事項、和装花嫁、洋装花嫁 確認テスト
エステティック～着付けの理論と技術	23	復習 4択問題練習 解答解説
総復習	74	4択問題、○×問題、過去問 解答解説 ワークブック 解答開設 確認テスト

成績	
成績評価の方法・基準	出席状況、授業への取り組み姿勢、学期末テスト、授業にて行う確認テストの成績、レポート提出等で総合的に成績評価を行う。出席率が85%以上で、且つ学期末テストの試験成績が60点以上であることを履修認定の基準とする。

基本情報			
講義名	美容実習(国家試験カット)	実務経験のある者の授業	○
授業形態	実技	必修/選択	必修
授業時間数	1年次	2年次	
	0	152	

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の実務経験内容
美容師	美容師免許取得後、美容師として実務を4年以上経験した者で、且つ厚生労働大臣の認定した研修の課程(美容技術理論・実習)を修了した者が授業を行う。

授業内容	
授業概要	美容師国家試験課題カットの合格に向けてのカッティング技術を身に付ける。 カット技術、理論、衛生面での知識を学び、確実に美容師国家試験に合格できるよう反復練習、弱点強化を授業にて実施する。
授業の到達目標	美容師国家試験のカット課題の合格基準をクリアできる技術・知識を身に付けること。

具体的内容		
項目	時間	内 容
スタイル説明	3	作業工程板書、デモンストレーション※全行程
工程理解	15	<ul style="list-style-type: none"> ・アウトライン工程 各ブロックごとにデモを実施し実践 シェーブの方向、カットラインの注意点 ・アンダーセクションのカット デモ後実践、引き出す角度の理解 ・オーバーセクションのカット デモ後実践、引き出す角度を理解させる、展開図をイメージ ・チェックカットの工程確認及び実践 ・各ブロックごとに工程及び注意点を再度確認
タイム強化①	3	手順確認及びタイムアップ
スタイル及びタイム強化①	3	全頭タイムトライ 25分 確認テスト
各工程の強化	12	アウトライン、アンダーセクション、オーバーセクション、チェックカットの確認、強化
スタイル及びタイム強化②	6	各ブロック毎のタイムトライ、タイムトライ後セクション毎にチェック 全頭タイムトライ 確認テスト
スタイル復習	15	アウトライン、アンダーセクション、オーバーセクション復習 手順の復習
タイム強化②	6	全頭タイムトライ
スタイル強化①	3	各セクションの注意点確認、各セクション毎のカット、正確なカットの心掛け 確認テスト
タイム強化③	6	全頭タイムトライ(弱点の把握、改善)
スタイル強化②	9	弱点再確認 各セクション毎のタイムトライ 引き出し位置、角度を確認する 全頭タイムトライ 確認テスト
スタイル及びタイム強化③	18	全頭タイムトライ(工程、立ち位置、姿勢、角度をチェック) 採点項目に沿って自己採点、弱点確認
衛生面指導	9	準備物 準備工程説明、机上準備の説明、審査項目の落とし込み、準備時間実践 表示の確認 準備時間～カット終了までを実践 道具がそろっているか確認、衛生面の審査項目復習、机上準備の再確認

具体的内容		
項目	時間	内 容
スタイル復習 確認テスト	9	チェックカットの工程確認及び実践 審査項目の再確認及びチェック 国家試験スタイル 20分
タイム強化④	10	全頭タイムトライ 審査項目に沿って自己採点、国家試験スタイル 確認テスト
弱点強化	10	各弱点を伝え強化を図る
最終調整	15	準備～顔拭きまでの全工程実践、注意点確認 衛生審査項目最終確認、実技審査項目最終確認 審査項目に沿ってチェックカット実施 全頭タイムトライ 自己採点、弱点強化

成績

成績評価の方法・基準	出席状況、授業への取り組み姿勢、学期末テスト、授業にて行う確認テストの成績、レポート提出等で総合的に成績評価を行う。出席率が85%以上で、且つ学期末テストの試験成績が60点以上であることを履修認定の基準とする。
------------	---

基本情報			
講義名	美容実習(国家試験ワインディング)	実務経験のある者の授業	○
授業形態	実技	必修/選択	必修
授業時間数	1年次	2年次※	
	63	129	79

※国家試験課題がワインディングの場合左、オールウェーブとなった場合は右の時間数

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の实務経験内容
美容師	美容師免許取得後、美容師として実務を4年以上経験した者で、且つ厚生労働大臣の認定した研修の課程(美容技術理論・実習)を修了した者が授業を行う。

授業内容	
授業概要	美容師国家試験課題ワインディングの合格に向けてのワインディング技術を身に付ける。 ワインディング技術、理論、衛生面での知識を学び、確実に美容師国家試験に合格できるよう反復練習、弱点強化を授業にて実施する。 ※国家試験課題はワインディングかオールウェーブのどちらかであり、その年度の課題がどちらになるかにより授業時間数は異なる。
授業の到達目標	美容師国家試験のワインディング課題の合格基準をクリアできる技術・知識を身に付けること。

具体的内容		
項目	時間	内容
国家試験スタイル説明	1	モデルウィッグを見てスタイルの特徴を説明、ブロッキングの説明
基礎技術確認	2	ブロッキングチェック、上巻きチェック、下巻きチェック
センターの構成	10	センターの各ブロック毎で使用ロッドの確認及び収まり、引出す角度の確認 各ブロック毎でのデモ及び実践(角度及び収まり、バランスの確認) 確認テスト(ブロッキング・センター)
フロントの構成	3	スライスの取り方とロッドの収め方
フロント及びサイドの構成	6	フロントの構成復習 左右再度のスライスの取り方とロッドの納め方 確認テスト
全頭構成確認	6	各ブロック毎で構成の確認
スタイル及びタイム強化	10	基本タイムの短縮を行う 各ブロック毎でのタイムトライ 基本動作チェック及び構成のチェック
テスト対策	10	各ブロック毎でのタイムトライ及び構成の確認 各ブロック毎での構成の注意点指導 全頭タイムトライ30分
フロントの構成(復習)	10	スライスの取り方とロッドの収め方確認
フロント及びサイドの構成(復習)	15	フロントの構成復習 左右再度のスライスの取り方とロッドの納め方確認 確認テスト
全頭構成(復習)	15	各ブロック毎で構成の確認を行う
スタイル及びタイム強化	21	各ブロック毎でのタイムトライ後、全頭タイムトライ タイムトライは1本20秒ペースで実施 基本動作チェック及び構成のチェック
衛生面	6	国家試験の規定の衛生面説明(準備の流れ、机上状態、身だしなみ)
バランス強化	6	各セクションの構成確認(左右シンメトリーか、フロントの収まりは適切か)
タイム強化	6	各セクションごとにタイムトライ、全頭タイムトライ
テスト対策	15	全頭タイムトライ、弱点チェック及び強化、採点項目に沿って自己採点

※美容師国家試験課題がワインディングの場合以下の50時間を実施。
※美容師国家試験課題がオールウェーブの場合以下の50時間は実施なし。

具体的内容		
項目	時間	内容
衛生面	6	衛生面の再確認、準備物確認、審査項目確認
タイム強化	8	全頭タイムトライ(衛生面の確認も同時に実施) 採点項目に沿ってチェック、弱点把握
模擬形式授業1	12	国家試験同様の流れで実施 準備確認 全頭タイムトライ 道具の衛生チェック 作業中の衛生チェック
バランス強化	16	各セクションでのタイムトライを行いながら構成及び、収まり確認 構成の強化を行いながらタイム短縮も実施
確認テスト	8	全頭確認テスト実施

成績	
成績評価の方法・基準	出席状況、授業への取り組み姿勢、学期末テスト、授業にて行う確認テストの成績、レポート提出等で総合的に成績評価を行う。出席率が85%以上で、且つ学期末テストの試験成績が60点以上であることを履修認定の基準とする。

基本情報			
講義名	美容実習(国家試験オールウェーブ)	実務経験のある者の授業	○
授業形態	実技	必修/選択	必修
授業時間数	1年次	2年次※	
	0	174	124

※国家試験課題がオールウェーブの場合左、ワインディングとなった場合は右の時間数

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の実務経験内容
美容師	美容師免許取得後、美容師として実務を4年以上経験した者で、且つ厚生労働大臣の認定した研修の課程(美容技術理論・実習)を修了した者が授業を行う。

授業内容	
授業概要	美容師国家試験課題オールウェーブの合格に向けてのオールウェーブ技術を身に付ける。技術、理論、衛生面での知識を学び、確実に美容師国家試験に合格できるよう反復練習、弱点強化を授業にて実施する。 ※国家試験課題はオールウェーブかワインディングのどちらかであり、その年度の課題がどちらになるかにより授業時間数は異なる。
授業の到達目標	美容師国家試験のオールウェーブ課題の合格基準をクリアできる技術・知識を身に付けること。

具体的内容		
項目	時間	内容
準備	3	準備物の確認、机上配置説明 ウィッグの馴染ませ方、基本動作指導(コームの持ち方、抑え方)
ハーフウェーブ リッジ	9	左右ハーフウェーブの作り方デモ、実践 左右リッジの作り方デモ、実践 コームの持ち方、動かし方確認 フルウェーブ作成 確認テスト
馬蹄形(1段目)	4	馬蹄形:ウェーブの状態・ピンカールのチェック
2段目	5	2段目:デモ・実践(指の置き方、コームの動かし方チェック)
3段目	3	3段目デモ・実践(左右のバランスチェック)
馬蹄～3段目復習 タイム強化	6	馬蹄～3段目復習 馬蹄～3段目 タイム取り 基本動作及びスタイルの状態をチェック 確認テスト
4段目	6	4段目デモ・実践ウェーブのみ 右リフトカールデモ実践 右リフトタイムトライ
5段目	6	5段目デモ・実践ウェーブのみ 左リフトカールデモ実践 左リフトタイムトライ
6・7段目	6	6段目・7段目デモ実践 6段目・7段目タイムトライ
スタイル強化 タイム強化	14	ウェーブ、カールに分けて弱点指導、バランス指導、タイムトライ
全頭復習 確認テスト	3	全頭きれいに作ることを目的 各カールの指導
全行程復習	12	馬蹄～7段目復習・実践・タイムトライ(各段の状態及びバランス確認) ウェーブの繋がり、カールの状態確認
タイムアップ	9	馬蹄～3段目タイムトライ 4段目タイムトライ 5段目タイムトライ 6・7段目タイムトライ ウェーブ・カール・バランスチェック
スタイル強化 タイム強化	6	全頭タイムトライ(ウェーブ・カール・バランスチェック) 審査項目落とし込み、審査項目に沿って自己採点 弱点トレーニング、確認テスト

具体的内容		
項目	時間	内容
衛生面指導	3	衛生面説明(準備の流れ、机上状態、身だしなみ) レイアウトを見せ説明 準備時間実践
準備時間復習 スタイル強化	6	準備時間7分間実践、準備時間注意点指導 ウェーブ、カールに分けて弱点指導 タイムトライ
スタイル強化 確認テスト	3	全頭タイムトライ、審査項目に沿って自己採点、弱点強化トレーニング 確認テスト
弱点強化	3	弱点別の指導実施 各段での構成確認 タイムトライ 審査項目に沿って自己採点・弱点把握
衛生含む全頭	3	準備状態及び作業のチェック 全頭タイムトライ 顔拭き作業 審査項目に沿って自己採点 強化ポイントの指導
タイム強化 スタイル強化	9	全頭タイムトライ(ウェーブ・カール・バランスチェック) 審査項目に沿って自己採点 弱点修正 確認テスト 全頭 各段での構成確認 各段でのタイムトライ 構成の強化を行いながらタイム短縮も実施 全頭タイムトライ
模擬形式授業	5	国家試験同様の流れで実施 準備確認 全頭タイムトライ 道具の衛生チェック 作業中の衛生チェック
※美容師国家試験課題がオールウェーブの場合以下50時間を実施。 ※美容師国家試験課題がワインディングの場合以下50時間は実施なし。		
衛生含む全頭	22	衛生面の再確認(準備物確認、審査項目確認) 準備時間実践及びチェック 準備状態、作業のチェック 全頭タイムトライ 顔拭き作業 強化ポイントの指導 確認テスト
弱点強化	16	各個人の弱点伝達、指導実施 各段での構成確認 ウェーブの強化 ウェーブバランスの強化 カールの強化 タイムトライ 審査項目に沿って自己採点・弱点把握
タイム強化 スタイル強化	12	全頭タイムトライ(ウェーブ・カール・バランスチェック) 審査項目に沿って自己採点 弱点修正
成績		
成績評価の方法・基準	出席状況、授業への取り組み姿勢、学期末テスト、授業にて行う確認テストの成績、レポート提出等で総合的に成績評価を行う。出席率が85%以上で、且つ学期末テストの試験成績が60点以上であることを履修認定の基準とする。	

基本情報			
講義名	美容実習(選択ヘアデザイナー技術)	実務経験のある者の授業	○
授業形態	実技	必修/選択	必修
授業時間数	1年次	2年次	
	533	59	

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の实務経験内容
美容師	美容師免許取得後、美容師として実務を4年以上経験した者で、且つ厚生労働大臣の認定した研修の課程(美容技術理論・実習)を修了した者が授業を行う。

授業内容	
授業概要	美容師としてのヘアデザイン技術に特化したカラー、パーマ、ヘッドスパ、フォトグラフィー等のサロンで働くうえで入社すぐに即戦力となれるような授業を実施する。
授業の到達目標	美容師として入社後即戦力となれる力をつけることを目標とする。

具体的内容		
項目	時間	内容
カット&ブロー	148	基本姿勢 ワンレングスカット(理論の理解、カット、ブロー) グラデーションカット(理論の理解、カット、ブロー) セイルレイヤーカット(理論の理解、カット、ブロー) メンズカット刈り上げ、マッシュ(理論の理解、カット、スタイリング)
ヘアアレンジ・セット	94	道具の説明 1束、お団子、ポニーテール カールアイロンの使い方 三つ編み、四つ編み、編み込み(表・裏)、編み込みバラ フルアップ アイロン(コテ)、ホットカーラー 日本髪 スカーフアレンジ 夜会巻き
カウンセリング	42	カウンセリングの基本的な考え、カウンセリングの基本姿勢 安心感を与える会話技法 カウンセリングの技術、応用技術 タイプ別取り組み お客様の自己認識と共通言語 ファッションスタイル別評価 店販に繋がるカウンセリング、ヘアケアのコミュニケーション クレーム対応 メニューの知識 ホームケア商品の知識、店販商品の販売促進 お客様との接点を強化するためのコミュニケーション
カラー	48	カラーの種類、刷毛の使い方 グレイカラーリタッチ、おしゃれ染めリタッチ・全頭 トーンダウン、トーンアップ ゼロテク(マニキュア塗布) ホイルワーク、ウィービング 弱点強化
パーマ	39	事前準備 ビッグロッド上巻き、下巻き 縦巻き、スパイラル巻き、 テスト対策

具体的内容		
項目	時間	内 容
シャンプー・ヘッドスパ	90	事前準備 サイドシャンプー実践 バックシャンプー実践 ヘッドスパ理論、毛髪診断、トウヒ診断 ヘッドスパ毛髪、頭皮 ヘッドスパ実践
実践スタイル	46	写真を見て分析 スタイリング実践、カット&スタイリング実践 ワンレン切り方復習 アンダー内巻き、トップフォワリバーズデモ・実践 刈り上げアップバングデモ・実践 自分なりにスタイルを作ってみる(カット&スタイリングのみ) グラボブカット復習、グラボブスタイリングデモ・実践
実践サロン	38	具体的な数字やサロンワークの流れ 集客とリピート 導線確認 電話対応レッスン カウンセリングレッスン 模擬練習
フォトグラフィー	47	撮影(被写体の重要性(光と影)、どの角度から見ても美しく撮影するためのポイント) ブローの重要性 スタイリング剤の種類と効果 ストレートアイロンで作るカールの方法 テーマに基づくモデル選定方法 スタイル作成理想のデッサン画作成 写真アングルによる見え方 SNSの種類と目的
成績		
成績評価の方法・基準		出席状況、授業への取り組み姿勢、学期末テスト、授業にて行う確認テストの成績、レポート提出等で総合的に成績評価を行う。出席率が85%以上で、且つ学期末テストの試験成績が60点以上であることを履修認定の基準とする。

基本情報			
講義名	美容実習(選択ブライダル技術)	実務経験のある者の授業	○
授業形態	実技	必修/選択	必修
授業時間数	1年次	2年次	
	533	59	

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の実務経験内容
美容師	美容師免許取得後、美容師として実務を4年以上経験した者で、且つ厚生労働大臣の認定した研修の課程(美容技術理論・実習)を修了した者が授業を行う。

授業内容	
授業概要	ヘアメイクだけではなくブライダルの知識技術を身につける。 ブライダルに関する着付け、メイク等を中心にブライダル業界等の即戦力となれるような人材育成のための授業を行う。
授業の到達目標	ブライダル業界等での即戦力となれる力をつけることを目標とする。

具体的内容		
項目	時間	内容
カット&ブロー	121	基本姿勢 ワンレングスカット(理論の理解、カット、ブロー) グラデーションカット(理論の理解、カット、ブロー) セイルレイヤーカット(理論の理解、カット、ブロー)
ヘアアレンジ・セット	89	道具の説明 1束、お団子、ポニーテール カールアイロンの使い方 三つ編み、四つ編み、編み込み(表・裏)、編み込みバラ フルアップ アイロン(コテ)、ホットカーラー 日本髪 スカーフアレンジ 夜会巻き
カウンセリング	42	カウンセリングの基本的な考え、カウンセリングの基本姿勢 安心感を与える会話技法 カウンセリングの技術、応用技術 タイプ別取り組み お客様の自己認識と共通言語 ファッションスタイル別評価 店販に繋がるカウンセリング、ヘアケアのコミュニケーション クレーム対応 メニューの知識 ホームケア商品の知識、店販商品の販売促進 お客様との接点を強化するためのコミュニケーション
着付け	184	浴衣の着付け(自装、他装) 着物の知識(補正、長襦袢) 留袖(裾上げ、衿合わせ、おはしより) 帯(二重太鼓、ふくら雀、掛下文庫、抱え帯) 振袖(裾上げ、衿合わせ、おはしより) 長襦袢半襟付け、女子袴着付け、花婿袴着付け 花嫁(掛下着付け、裾引き) 復習、トータル仕上げ

具体的内容		
項目	時間	内 容
メイク	117	セッティング(心得、意識付け、化粧品の名称・用途、基本セッティング) スキンケア知識(スキンケアの役割、基礎知識の理解) スキンケアテクニック リップクレンジング、アイメイククレンジング、ベースクレンジング、拭き取りテクニック ローショントーンング、クリームトーンング メイクアップ知識(メイクアップの役割と特徴について) ベースメイク アンダーベース、FDテクニック、コンシーラー、パウダー フルメイク 骨格修正、リップテクニック、アイメイクテクニック、アイブロー、チークテクニック ナチュラルフルメイク通しレッスン 色・形(イメージ及びメイクアップにもたらす効果について理解) 顔型別メイク パーソナルカラー 基礎知識、シーズン色の特徴とイメージ、カラーコーディネートの基本 洋装メイク 洋装メイクについて、ベースメイク、アイメイク、チークリップメイク、アイブローメイク 和装メイク 洋装メイクについて、ベースメイク、アイメイク、チークリップメイク、アイブローメイク 苦手箇所トレーニング
実践ブライダル	39	基本的なアップ技法 和装ヘア(面だし) 洋装ヘア ベースメイク フルメイク 色彩 クイックチェンジ
成績		
成績評価の方法・基準		出席状況、授業への取り組み姿勢、学期末テスト、授業にて行う確認テストの成績、レポート提出等で総合的に成績評価を行う。出席率が85%以上で、且つ学期末テストの試験成績が60点以上であることを履修認定の基準とする。

基本情報			
講義名	美容実習(選択アイ・エステ技術)	実務経験のある者の授業	○
授業形態	実技	必修/選択	必修
授業時間数	1年次	2年次	
	533	59	

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の实務経験内容
美容師	美容師免許取得後、美容師として実務を4年以上経験した者で、且つ厚生労働大臣の認定した研修の課程(美容技術理論・実習)を修了した者が授業を行う。

授業内容	
授業概要	美容師としての技術だけではなく美しい目元、美しい体づくりのスペシャリストとしてアイラッシュアーティストやエステティシャンを目指せる授業を行う。
授業の到達目標	アイラッシュ、エステティシャンとして即戦力となれるような知識技術力を身に着けることを目標とする。

具体的内容		
項目	時間	内容
カット&ブロー	121	基本姿勢 ワンレングスカット(理論の理解、カット、ブロー) グラデーションカット(理論の理解、カット、ブロー) セイルレイヤーカット(理論の理解、カット、ブロー)
ヘアアレンジ・セット	37	道具の説明 1束、お団子、ポニーテール カールアイロンの使い方 三つ編み、四つ編み、編み込み(表・裏)、編み込みバラフルアップ
カウンセリング	86	カウンセリングの基本的な考え、カウンセリングの基本姿勢 安心感を与える会話技法 カウンセリングの技術、応用技術 タイプ別取り組み お客様の自己認識と共通言語 ファッションスタイル別評価 店販に繋がるカウンセリング、ヘアケアのコミュニケーション クレーム対応 メニューの知識 ホームケア商品の知識、店販商品の販売促進 お客様との接点を強化するためのコミュニケーション
エステボディ	86	ボディ実技理論(ボディの組み立てについて、機器選定、ホームケアについて) サロンでの救急法(救急法の基礎知識) 下肢マッサージ技術(前面後面) 腰背部・肩・腕マッサージ技術 上肢・腹部マッサージ技術 ボディカウンセリング 全身マッサージ 解剖生理学(人体のあらまし、骨格系、神経系、消化器系、呼吸器系等) 美容脱毛(ワックス脱毛について) 機器操作(低周波・ヒートマット・G5)

具体的内容		
項目	時間	内 容
エステフェイシャル	77	フェイシャル実技理論 フェイシャルコースの組み立て方、カウンセリングシートの記入 化粧品学 化粧品の定義と役割、基礎化粧品、メイクアップ・ボディケア化粧品、原料 ベットセッティング クレンジング(ポイントクレンジング、クレンジングマッサージ) 軽擦法、強擦法、揉捻法、打法、圧迫法、振動法、デコレテ フェイシャルマッサージ サロンでの衛生・消毒、心身生理学、エステティック関連法規 スチーマー導入 浅学 フリマトールブラシ 吸引管 イオン導入
リフレクソロジー	9	リフレクソロジー効果、反射区、事前ストレッチ 反射区:副腎、腎臓、尿管、大脳、脳下垂体レッスン 反射区:首、鼻目耳、胃、小腸、結腸、肛門レッスン
アロママッサージ	27	アロマの基本 精油のプロフィール フェイシャルスチーム、吸引法、アロマスプレー、ボディオイル・バスソルト実践 アロマの安全性 アロマリラクゼーションマッサージ ボディオイル配合 アロマメカニズム、歴史、法律、環境
実践サロン	53	具体的な数字やサロンワークの流れ 集客とリピート 導線確認 電話対応レッスン カウンセリングレッスン 模擬練習
アイラッシュ	96	まつげの歴史 商材学 テープワーク1 ツイザーワーク レッスングルー カウンセリング学 Jカール ポイントオフ 全オフ Cカールレッスン
成績		
成績評価の方法・基準		出席状況、授業への取り組み姿勢、学期末テスト、授業にて行う確認テストの成績、レポート提出等で総合的に成績評価を行う。出席率が85%以上で、且つ学期末テストの試験成績が60点以上であることを履修認定の基準とする。

基本情報			
講義名	特別授業	実務経験のある者の授業	×
授業形態	講義	必修/選択	選択
授業時間数	1年次	2年次	
	8	3	

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の実務経験内容
—	—

授業内容	
授業概要	OBOGセミナー、技術講習会
授業の到達目標	就職活動への意欲向上、社会人に向けての意識の切り替え、SNSの正しい使い方の理解

具体的内容		
項目	時間数	内容
OBOGセミナー	5	OBOGによる講義
技術講習会	6	美容技術についての講習会

成績	
成績評価の方法・基準	出席状況、授業への取り組み姿勢、確認テスト、レポートの提出等を総合的に判断し、成績評価を行う。

基本情報			
講義名	マナー	実務経験のある者の授業	×
授業形態	講義	必修/選択	選択
授業時間数	1年次	2年次	
	34	40	
担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)			
職種	担当する教員の実務経験内容		
-	-		
授業内容			
授業概要	職場や地域社会で多様な人々と仕事をしていくための必要なマナー・スキル・人間力を取得させる		
授業の到達目標	卒業後、業界・就職先にて技術だけでなく、接客のプロとして即戦力で活躍できる人材に育成することを目標とする。		
具体的内容			
項目	時間数	内 容	
主体性 I	4	定義(物事に進んで取り組む力)の理解 定義を理解した上での、現状「できていないところ」に気付く	
主体性 II	3	今後改善しなければならない事を理解する。事例をもとに、改善に向け訓練をおこなう。	
実行力 I	4	定義(目的を設定し確実に行動する力)の理解 定義を理解した上での、現状「できていないところ」に気付く	
実行力 II	3	今後改善しなければならない事を理解する。 事例をもとに、改善に向け訓練をおこなう。	
柔軟性 I	3	定義(意見の違いや立場の違いを理解する力)の理解 定義を理解した上での、現状「できていないところ」に気付く	
柔軟性 II	3	今後改善しなければならない事を理解する。 事例をもとに、改善に向け訓練をおこなう。	
課題発見力 I	4	定義(現状を分析し目的や課題を明らかにする力)の理解 定義を理解した上での、現状「できていないところ」に気付く	
課題発見力 II	3	今後改善しなければならない事を理解する。 事例をもとに、改善に向け訓練をおこなう。	
ストレスコントロール力 I	4	定義(ストレスの発生源に対処する力)の理解 定義を理解した上での、現状「できていないところ」に気付く	
ストレスコントロール力 II	3	今後改善しなければならない事を理解する。 事例をもとに、改善に向け訓練をおこなう。	
創造力 I	3	定義(新しい価値を生み出す力)の理解 定義を理解した上での、現状「できていないところ」に気付く	
創造力 II	3	今後改善しなければならない事を理解する。 事例をもとに、改善に向け訓練をおこなう。	
挨拶	2	あいさつをする理由、あいさつの順序、あいさつの言葉と注意事項、実践訓練	
時間管理	2	「時間を守ることは、信用を守ること」の意味	
礼節	2	礼儀を学ぶ意義、礼儀とは、礼の仕方と目的	
話し方・聞き方	4	好印象を与えるための正しい聞き方、傾聴、好印象を与えるための正しい話し方	
健康管理	2	プロとは、自分の最大限の能力を発揮できるよう、常に体調面と精神面を重要視し、またケアしている人である。	
携帯電話の使い方	2	ソーシャルメディアの種類(代表的なもの)、SNSでのトラブルの原因、利用上の注意点	
5S	2	5Sとは(整理・整頓・清潔・清掃・躰)、「片づけは、雑務じゃない」ことを知る	
電話応対	3	電話応対時の声の出し方、電話応対に使う敬語 電話対応でよく使う尊敬語・謙譲語・丁寧語、実践訓練	
名刺	2	名刺交換のマナー、名刺交換の順番	
手紙の書き方	2	縦書きの手紙のマナー、横書きの手紙のマナー	
冠婚葬祭	1	冠婚葬祭の決まり事	
食事・テーブルマナー	2	テーブルマナーの基本、食事のマナー違反	
飲酒・喫煙マナー	2	お酒の上手な断り方をマスターしよう、身体的、精神面への影響、喫煙者のマナー	
報告・連絡・相談	2	「報告」、「連絡」、「相談」の違い、正しく伝える「報・連・相」の実践ポイント	
人間関係	4	職場・組織での人間関係、自分に価値を持つ、友達と同僚のけじめ、他人と比較しない	
成績			
成績評価の方法・基準	出席状況、授業への取り組み姿勢、確認テスト、レポートの提出等を総合的に判断し、成績評価を行う。		

基本情報			
講義名	就職	実務経験のある者の授業	×
授業形態	講義	必修/選択	選択
授業時間数	1年次	2年次	
	29	11	

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の実務経験内容
—	—

授業内容	
授業概要	入社したい会社に入る為の就職活動をする上での対策・マナーの学習はもちろんのこと、自分の将来を考えた上での企業の選定方法や選定する上で気を付けなければならないことを学ぶ。
授業の到達目標	生徒が持っている将来像をはっきりとしたものにさせ、その将来像を目指すにあたっての企業選定や、就職活動をする上での対策やマナー等を習得させ、より良い就職をさせることを目標とする。

具体的内容		
項目	時間数	内容
会場ガイダンス	6	・多くのサロンを知ることが目的であること ・働き方や条件を見比べ、サロン研究用のシート
証明写真	1	・写真での服装やマナー、使用に関する注意
サポート説明	2	・就職活動の流れを説明し、早い段階で多くのサロンを知っておくメリット ・実際にサロンのピックアップ
サロン見学マナー	2	・電話のかけ方や質問内容を説明する、服装
書類	8	・履歴書
面接基本マナー	4	・よく聞かれる質問をピックアップし準備
模擬面接	9	・集団模擬面接の実施
面接振り返り	7	・答えられなかった質問を共有する
トータル	1	・確認テスト、レポート作成

成績	
成績評価の方法・基準	出席状況、授業への取り組み姿勢、確認テスト、レポートの提出等を総合的に判断し、成績評価を行う。

基本情報			
講義名	選択	実務経験のある者の授業	×
授業形態	講義	必修/選択	選択
授業時間数	1年次	2年次	
	70	6	

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の実務経験内容
-	-

授業内容	
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・経営学(キャリアプランニングについて) ・パーソナルカラー(人を美しくすることにおいて重要な色について学ぶ) ・1年生研修(新しく入学してきた生徒に対し、学校生活の基本及びクラスメイト、教員との「絆」づくりをテーマとする。)
授業の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自身でキャリアプランニングを立てられるようになる。 ・色についての知識習得、検定合格 ・「絆」づくり=「居場所」づくりを行い、学校生活の楽しさを理解させ退学者低減目標とする

具体的内容		
項目	時間数	内容
経営学	6	キャリアプランニングを立てる
パーソナルカラー	40	パーソナルカラーとは何か 色が見える光、物体、視覚の条件、基礎知識 PCCS表色系について、トーン表の作成 色の基礎知識 清色と濁色:板書、解説 色の属性の見極めレッスン パーソナルカラー分析の考え方 色の属性が肌に与える影響:板書 ドレーピング フォーシーズンの見本帳の作成、色の解説、特徴、ヘアメイクカラー 色彩調和論(人名、説の解説と板書、ライン引き) 基本の配色方法:色相配色 基本の配色方法:トーン配色 色相、トーン配色、配色技法の演習
1年生研修	30	自己紹介・教材配布・年間学校スケジュール 学校規則・ルール・掃除方法レクチャー 業界セミナー 各グループ毎に、「アクティビティ」を実行。コミュニケーションを深める 挨拶訓練・指導。自身の挨拶と、求める挨拶の違いを知る。

成績	
成績評価の方法・基準	出席状況、授業への取り組み姿勢、レポートの提出等を総合的に判断し、成績評価を行う。